

納付金等拠出金は一時減少も、次年度以降は増加傾向に!

7 月 21 日に「第 147 回 ダイフク健康保険組合 組合会」が開催され、2022 年度収支決算その他が決定されましたので、概要をお知らせします。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

健保組合を取り巻く情勢は、高齢者医療への過重な拠出金負担の増加と現役世代の減少などにより、極めて厳しい状況が続いています。また、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが 5 月より季節性インフルエンザなどと同じ「5 類」に移行することにより、コロナ対策は大きな節目を迎えています。

当年度において、全国の健保組合 1,380 組合のうち、約 9.8%の組合が一般保険料率を引き上げ、約 9.4%の組合が介護保険料率を引き上げていますが、約 79.2%の組合が赤字となっています。また、保険料収入に対する納付金等拠出金の割合 50%超の組合は約 13.0%ですが、40%超の組合は約 72.0%に上ります。

当健保においては、一般保険料率を前年度同率の 9.0%としましたが、ダイフクの業績好調などにより前年度を上回る保険料収入となりました。支出では、新型コロナウイルス感染症対策が若干緩和されたため事業計画の一部は実施できたものの、多人数が参加する計画はほとんど中止、納付金等拠出金はコロナ禍による医療費減少や後期高齢者の保険料負担割合上昇などの影響により一時的に減少したため、経常収支では約 7 億 29 百万円の黒字となりましたが、納付金等拠出金は一時的に減少したとはいえ、負担割合は保険料収入の約 31.8%となり、医療費負担である保険給付費（約 39.8%）と併せた義務的経費だけで保険料収入の約 71.6%を占めています。

また、介護収支では介護納付金も若干減少したため、介護保険料率を前年度同率の 2.0%とし、差引では約 74 百万円の黒字となりました。

しかし、高齢者医療制度による納付金等拠出金や介護納付金は、コロナ禍における一時的な減少のため、次年度以降反動で増加することが予想されます。

健保運営としては、黒字でありながら先行きの見えない厳しい状況が続きますが、目の前の対策だけにとらわれず、従業員皆さんの健康を意識し、医療費の削減につながる保健事業を展開していきます。

< 収入の状況 >

被保険者数は前年度から 130 人増の 4,620 人、被扶養者は前年度から 84 人減の 4,526 人、平均標準報酬月額の前年度から 356 円減の 430,983 円となりました。

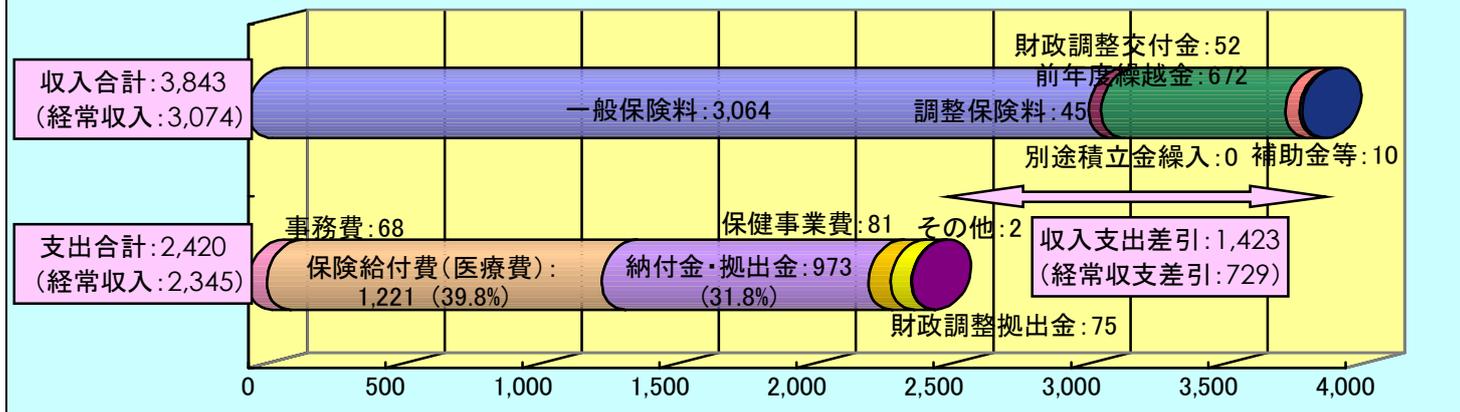
経常収入では、一般保険料率を前年度同率としたが前年度から約 1 億 11 百万円増の約 30 億 74 百万円となりました。

< 支出の状況 >

保険給付費は前年度から約 2 百万円増の約 12 億 21 百万円、納付金等拠出金は前年度から約 4 億 97 百万円減の約 9 億 73 百万円、保健事業費は前年度から約 15 百万円増の約 81 百万円となりました。

経常支出では、前年度から約 4 億 70 百万円減の約 23 億 45 百万円となりました。

【2022年度 収支決算の状況(一般)】 (単位:百万円)



【収支科目別決算額(一般)】 (百万円)

<収入>	2021年度	2022年度	対前年度増減
一般保険料	2,956	3,064	108
調整保険料	45	45	0
前年度繰越金	632	672	40
別途積立金繰入	0	0	0
財政調整交付金	59	52	▲7
補助金等	7	10	3
(収入合計)	3,699	3,843	144
経常収入額	2,963	3,074	111

* カッコ内は一般保険料収入に占める割合

<支出>	2021年度	2022年度	対前年度増減
事務費	58 *(2.0%)	68 *(2.2%)	10
保険給付費(医療費)	1,219 *(41.2%)	1,221 *(39.8%)	2
納付金・拠出金	1,470 *(49.7%)	973 *(31.8%)	▲497
保健事業費	66 *(2.2%)	81 *(2.6%)	15
財政調整拠出金	45	75	30
その他	2	2	0
(支出合計)	2,860	2,420	▲440
経常支出額	2,815	2,345	▲470

<収支差引額>	2021年度	2022年度	対前年度増減
(収支差引)	839	※1 1,423	584
経常収支差引	148	729	581

※1 別途積立金に 5億20百万円を計上し、2023年度に 約9億3百万円を繰り越しました。

【収支科目別決算額(介護)】 (百万円)

<収入>	2021年度	2022年度	対前年度増減
介護保険料	455	466	11
その他	124	206	82
(収入合計)	579	672	93

<支出>	2021年度	2022年度	対前年度増減
介護納付金	400	392	▲8
その他	0	30	30
(支出合計)	400	422	22

<収支差引額>	2021年度	2022年度	対前年度増減
(収支差引)	179	※2 250	71
保険料-納付金差引	55	74	19

※2 法定準備金に 420万円を計上し、2023年度に 約2億45百万円を繰り越しました。

※健保の保健事業の詳細については、「ダイフク健保ホームページ」(下記アドレス)より、「健康づくりのための事業」項目をご覧ください。

<http://www.daifuku-kenpo.or.jp/index.html>